

# ユーザーマニュアル 1.50

## ラッピング車両の洗車とメンテナンス

### 概要

ラッピング施工が完了し、品質を保持していくにはどのようにすればよいのでしょうか。施工後のカーラッピングフィルムのメンテナンスについては、見逃されることが多々あります。ラッピングした車両のオーナー様に対し、メンテナンス方法の説明は非常に重要になります。メンテナンスを行わない若しくは間違ったメンテナンス方法を実施した場合は、カーラッピングの寿命を短縮させ、期待する耐候年数より早い劣化を招きます。

*注記：カーラッピングフィルムが予定した使用期間に達した場合もしくは、光沢度の低下・退色・フィルムの劣化等の外観の変化に気づいた場合は、速やかに評価を行うため施工業者にご連絡ください。*

フィルム表面の汚れを除去するには、AveryDennison シュプリームラップケアシリーズの使用を推奨いたします。そのほか IPA（イソプロピルアルコール）や、市販の車両用シャンプーやクリーナーの使用も可能です。事前に目立たない場所で評価を行ってからご使用ください。

DOL6460（透明ポリウレタン製オーバーラミネートフィルム）を使用している場合には、溶剤成分がフィルム表面に残らない、吸収しない様に直ぐに拭きとる、フィルム表面を抑えずに軽くこする等、注意が必要になります。フィルムに溶剤成分が吸収されてしまうとフィルムの軟化や、接着力が低下する原因となります。

### メンテナンスのキーポイント

施工後の皮脂（指紋）やその他の汚れは、シュプリームラップケア(クリーナーやパワークリーナー)や IPA を使用し必ず拭きとってください。さらにシュプリームラップケア（シーラント）を使用すると、フィルム表面に保護層が設けられ汚れが付着しても除去が容易になります。

- ・冬期に施工した場合は、車両を屋外に移す前に室温で 24 時間程度保管しておくことを推奨致します。
- ・ラッピングフィルムを施工した車両を定期的に洗車することにより、外観を美しく保つだけでなくラッピングフィルムの寿命を延ばすことができます。

#### Point1:2 週間に 1 回は洗車を行う

- フィルム表面に泥や油分などの汚れ成分は、長時間接触し続けると塗装同様に劣化します。汚れたままの状態では、紫外線に曝されることにより、フィルムの劣化が進むことがあります。
- ラッピングした車両は、定期的な洗車もしくは汚れた時点で洗車することを推奨致します。カーラッピングを美しく保つには 2 週間に 1 回の洗車を実施するとよいでしょう。

#### Point2:落ちにくい汚れの落とし方

- 虫や鳥のフン、樹液やタール、ガソリンやオイル等の落ちにくい汚れが付着した場合は、シュプリームラップケア（パワークリーナー）を使用し、直ぐに除去することを推奨致します。放置すると塩ビフィルムに影響します。

- 柑橘油（オレンジオイル／リモネン）系の洗剤液も使用できます。汚れが除去した後、水で洗い流し洗剤を残さない様にします。

注意：薬品、溶剤、洗剤等は、ラッピングフィルムだけでなく、塗装にも影響を与えることがあります。ご使用前には、必ず目立たない部分でお試ください。

- ご使用後は必ず水拭きをしてください。
- 研磨剤の入っていない洗剤をご使用ください。
- pH3～pH11 のものをご使用ください。
- アセトン、メチルエチルケトン、トルエン、塗料やラッカーの薄め液等の芳香族系溶剤は使用しないでください。

### Point3:環境による影響

- ラッピングした車両は、屋根のある場所や車庫に駐車するもしくは、カバーをかけて駐車してください。
- 標高の高い場所（山岳地帯）では、空気が薄く紫外線の遮蔽率が減少するため、海拔ゼロ地点に比べて紫外線の影響が大きくなり、劣化の程度も著しく増加します。
- 市街地や工業地帯では、大気中のスモッグや汚染物質が多く、ラッピングした車両の水平部分の耐候年数に特に影響を及ぼします。水平部分には化学物質が付着しやすく、耐候年数が短くなることとなります。
- 塩ビフィルムは水中や海水中での使用を、意図しての設計はされておりません。ボートのラッピングにご使用になる際には、その都度水で洗い流してください。

### Point4：大気中の汚染物質を含む水垢やしつこい汚れの除去方法

- 雨降り後に水分除去を怠った水垢や、大気中の汚染物質を含んだ泥汚れなどの付着している場合は、通常の洗剤と水では落ちないことがあります。
- 季節や地域により、大気中の汚染物質や量は変化いたします。
- このような状況の場合は、落書き落とし剤などが有効になります。ご使用する場合は製造メーカーの使用方法に従い、作業を行うようにしてください。

注記：必ずしも除去するとは限りません。見えづらい箇所では、事前の評価をお願い致します。

<参考製品>スPARTANケミカル社 グラフィティリムーバー ※日本でも購入可能です。

Spartan Graffiti Remover SAC™

Spartan Chemical Co. Inc, Biorenewable Graffiti Remover

110 Spartan Dr., Maumee, OH. 43537

[www.spartanchemical.com](http://www.spartanchemical.com)

### Point5: 皮脂（手垢）の除去方法

- マットやサテンのフィルムでは、皮脂（手垢）が目立つことがあります。
- IPA：水を2:1に調製した液体を、ペーパータオルやマイクロファイバーに含ませて、拭き取ってください。

## ラッピング車両の洗車方法

### 手洗い洗車

手洗い洗車を推奨します。粘着力が設計値に達する施工後 48 時間以上経過するまで、洗車は控えてください。洗車後はウォーターマーク等の原因となる為、速やかに水分を拭きとりください。

- 車両を水で洗い流します。車両表面の埃を落とし、ラッピングフィルムに傷がつくのを防ぎます。
- 中性洗剤を含ませたスポンジで優しく洗います。車両の上から下に向かって洗っていきます。必要以上にゴシゴシとこすらないようにし、ラッピングフィルムに傷を付けないようにします。
- 水でよく洗い流します。
- 水滴の跡を残さないように、直ぐに拭き取ります。シリコン製のスキージで水滴を落とした後、セーム革、マイクロファイバークロス、柔らかいタオルなどを使って拭き取るとよいでしょう。

**注記：フィルム端部から剥がれないよう、ご注意ください。**

**研磨剤、溶剤、アルコールを含まない洗剤をご使用ください。**

**洗剤の pH は 3～11 のものをご使用ください。**

**ご使用前に必ず目立たない部分でお試しくささい。**

### 自動洗車機での洗車

自動洗車機の使用は推奨致しません。ブラシでフィルムを痛めたり、フィルム端部の剥がれるリスクを伴いますので、ブラシのないシャワータイプ（ブラシレス洗車機、ノーブラシ洗車機）をご使用ください。

- 洗車機のワックスコースは、選択しないようにご注意ください。使用されているワックスに石油系溶剤が含まれていることがあります。石油系溶剤入りのワックスはラッピングフィルムを傷めます。
- 洗車完了後は、マイクロファイバー等で軽くたたくようにし、速やかに水滴を拭き取ってください。

### パワーウォッシャー／高圧洗浄機

前述のメンテナンス方法や洗車方法を全て試しても、汚れが落ちなかった場合にのみ、高圧洗浄機を使用してください。

使用の際には、下記項目に注意し使用してください。

**注記：高圧洗浄機は、フィルム端部の剥がれ・浮きや劣化等の影響を及ぼすことがあります。**

- 水圧は 1200 psi (8-bar/84 kg/cm<sup>2</sup>) 以下で使用ください。
- 水温は 80℃ 以下で使用ください。
- ノズルはフィルム端部から 30 cm 以上離してご使用ください。
- ノズルはフィルムに対し垂直方向に向けてください。フィルム端部の浮き・剥がれを防ぎます。
- スプレーの角度は 40 度以上に設定してください。

## シートタイプ/スプレータイプワックス

長期間、ラッピング車両を美しく保つためのオプションをご紹介します。

AveryDennison シュプリームラップケア（シーラント）は、クリーニング終了後に使用することにより、フィルム表面に保護層を設け、汚れが付着しても除去が容易になります。その他具体的には下記にて紹介する推奨製品をご参照ください。

ラッピングした車両がさほど汚れない使用条件下でも、シートタイプ/スプレータイプワックスは有効です。

**注記：**どのような洗剤を使用する場合にも、ご使用前に必ず目立たない部分でお試しく下さい。

石油系溶剤や研磨剤（コンパウンド）を含まないワックスをご使用ください。どのようなワックスを使用する場合にも、ご使用前に必ず目立たない部分でお試しく下さい。また、残ったワックスはクリーナーを用いて除去してください。

## 推奨する洗剤およびフィルム別の洗車方法

Avery Dennison は以下の製品及び方法を推奨しております。製品に記載されている使用方法に従いご使用ください。

フィルム種類/仕上げ方法	推奨製品 又は 推奨方法
グロス (塩ビフィルム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AveryDennison シュプリームラップケア（クリーナー、パワークリーナー、シーラント）</li> <li>• Turtle Wax Ice タートルワックス ICE 日本でも購入可能です</li> <li>• Aquinil Waterless Wash by Croftgate</li> <li>• Croftgate Wrap Care After Care JP</li> <li>• Whoosh Tint&amp;Vinyl Cleaner</li> <li>• Four Star Ultimate Spray Wax Plus</li> </ul> <p><b>注記：</b>この他の製品も使用可能です。石油系溶剤を含まないかお確かめの上ご使用ください。</p>
マット,サテン,テクスチャ系 (塩ビフィルム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AveryDennison シュプリームラップケア（クリーナー、パワークリーナー、シーラント）</li> <li>• 50%イソプロピルアルコール（IPA）</li> <li>• Simple Green シンプルグリーン 日本でも購入可能です</li> <li>• Aquinil Waterless Wash by Croftgate (version for matte films)</li> </ul> <p><b>注記：</b>この他の製品も使用可能です。石油系溶剤を含まないかお確かめの上ご使用ください。</p>
マットホワイト カーボンファイバーホワイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AveryDennison シュプリームラップケア（クリーナー、パワークリーナー、シーラント）</li> <li>• 洗剤を溶かしたぬるま湯とフィルムを傷つけにくい布（マイクロファイバークロス等）で洗う</li> <li>• 50%イソプロピルアルコール（IPA）とフィルムを傷つけにくい布で洗う</li> <li>• フィルムを傷つけにくい布に汎用洗剤をスプレーし、残っている IPA を拭き取る</li> <li>• マットホワイトフィルムの場合、家庭用の漂白剤を布に染み込ませて拭き、50%IPA で残った漂白剤を拭き取る</li> </ul>

クローム	<ul style="list-style-type: none"><li>・シュプリームラッピングフィルム クローム系フィルムには、特別なメンテナンスが必要です。引っかき傷が付いてしまいますので、洗車の際にはゴシゴシ擦らないようにご注意ください。セーム革、マイクロファイバークロス等を使用し、ブラシは使用しないでください。一方向に拭くようにしてください。円を描くように拭くとフィルム表面に跡が残ります。傷付きを防ぐため、粒子の粗い洗車剤は使用しないでください。洗車及びメンテナンスにはグロスフィルム製品向けと同じ製品をご使用いただけます。</li><li>・AveryDennison シュプリームラップケア（クリーナー、パワークリーナー、シーラント）</li><li>・Turtle Wax Ice</li><li>・Aquinil Waterless Wash by Croftgate</li><li>・Croftgate Wrap Care After Care JP</li><li>・Whoosh Tint&amp;Vinyl Cleaner</li><li>・Four Star Ultimate Spray Wax Plus</li></ul>
------	---

**注記：上述の推奨製品および推奨方法は、お客様に情報提供をする目的で公表しており、製品の補償（補填）または製品の品質の保証をするものではありません。ご使用前にお客様ご自身でお試しいただくようお願い申し上げます。**

詳細につきましては、エイブリー・デニソンもしくは最寄りの取扱店までお問い合わせください。